

鶴岡市議会議員〔無党派・総務常任委員会〕

田中ひろし 市政報告

2010
APR.



＜連絡先＞ 事務所 〒 997-0036 山形県鶴岡市家中新町 13-35 メール：officefon@gmail.com
TEL 0235-22-0068 FAX 0235-22-0098
議会事務局 〒 997-8601 山形県鶴岡市馬場町 9-25 鶴岡市役所 2階
TEL 0235-25-2111 FAX 0235-24-9071

【子どもの笑顔あふれる鶴岡】を目指して

皆さん、こんにちは！鶴岡市議会議員の田中宏です。4月というのに肌寒い日が続き、桜も若干遅れましたが、心なしか例年より濃い色で咲き揃いました。4月29日には藤沢周平記念館、5月22日にはまちなかキネマト、中心市街地活性化の起爆剤になり得るスポットが相次いでオープンします。

さて、私は昨年10月の選挙で当選させて頂き、10月23日から議員としての生活が始まりました。早いもので半年が過ぎ、11月・2月・4月の臨時会、12月・3月の定例会を経験。これまで一市民として暮らしていた私にすれば、市政についても市議会についても、新鮮な驚きがたくさんあります。

健全な市民感覚を忘れずに、市政のあり方をチェックし、改善していくこと。そして、これまで以上に市民の声を反映できる市議会にしていくこと。この2点を肝に銘じて、皆さんと共に歩いていく所存です。宜しくお願い申し上げます！

鶴岡市議会議員 田中 宏



↑ 鹿児島市役所
↓ 宮崎県綾町／雛山祭り

2010年2月
鹿児島市役所表敬訪問



鹿児島市長・森博幸氏



慶應先端研 視察

H21年 12月定例会・一般質問

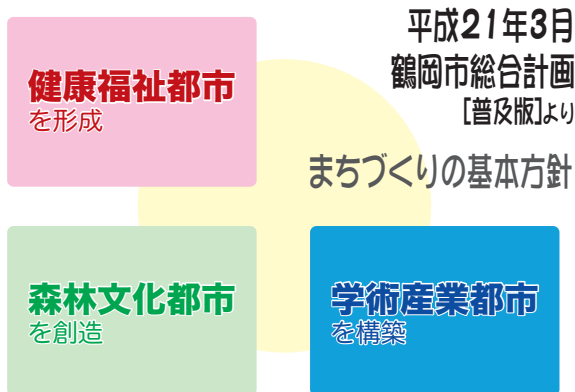
平成21年12月定例会は、3日に開会し、総括質問、一般質問と続き、10日からは、総務常任委員会・市民生活委員会・厚生文教委員会・産業建設委員会が行われ、22日に閉会しました。田中は、9日の一般質問に登壇し、下記の質問を行いました。

1 「森林文化都市」構想と具体的施策の関連について

- (1) 「イメージ」の視点から
- (2) 「産業」の視点から
- (3) 「福祉」の視点から
- (4) 「教育」の視点から

① 「森林文化都市」構想と具体的施策の関連について

(田中) 「森林文化都市」は、鶴岡市総合計画にもルネサンス宣言にも謳われている重要課題である。その達成への具体的施策について問う。基本イメージと市町村合併後に費やした経費は。教育／産業振興／住民福祉向上などの諸テーマに、「森林文化都市」はどう寄与すると考えているのか。



(企画部長) 北村昌美先生が提唱する「文化森林学」を基本理念に、《森を学ぶ》《森を育てる》《森に親しむ》を活動の3本柱にしている。南シュヴァルトツヴァルト自然公園(ドイツ)との交流や鶴岡致道大学の開催などのソフト事業に約6500万円、林道整備や森林間伐などハード事業に約8億6000万円。三瀬保育園の森の保育、あさひむら観光協会「森の遊

えんち♪」など子ども達が感性豊かに育つために自然の中で遊ぶ活動も重要であり、積極的に取り組んでいく。対象地域は大山の上池下池・六十里越街道など鶴岡市全域の自然環境。すべての世代が参加できる機会を作っていきたい。

(農林水産部長) 農林水産業と森林文化都市構想は相互に関連している。森林環境の保全の取り組みや山菜／キノコなどの特産物の生産振興は中山間地域の活性化につながる。「森は海の恋人」と言われているように、良好な漁場を保全するためにも森林が重要なため、「魚の森づくり」事業を進めている。グリーンツーリズムについては、魅力ある森林に触れることが大きなメニューとなる。

(健康福祉部長) 癒しや森林浴・スローライフなど、森林が与える健康上の効用は大きい。「福祉の人づくり」の点でも期待できる。

H22年 3月定例会・一般質問

平成22年3月定例会は、2日に開会し、総括質問、一般質問と続き、10日からは、総務常任委員会・市民生活委員会・厚生文教委員会・産業建設委員会が行われ、24日に閉会しました。田中は、8日の一般質問に登壇し、下記の質問を行いました。

- 1 「子ども読書活動推進計画」について
 - (1) 策定スケジュールについて
 - (2) 策定体制について
- 2 ふるさと納税(鶴岡ふるさと寄附金)について
 - (1) これまでの実績について
 - (2) 今後の展開について

① 「子ども読書活動推進計画」策定について

(田中) 鶴岡市は朝陽第一小学校を中心に、全国から注目される子ども読書活動の先進地である。しかし「子ども読書活動推進計画」が策定されていない。現場の頑張りや工夫に頼るだけでなく、鶴岡市全体として子ども達の読書環境を整備していくべきではないか。

平成 23 年度に本格実施される新学習指導要領でも、全ての教科で言語力が求められている。「国民読書年」の今年を好機として、策定スケジュールの明確化を求める。

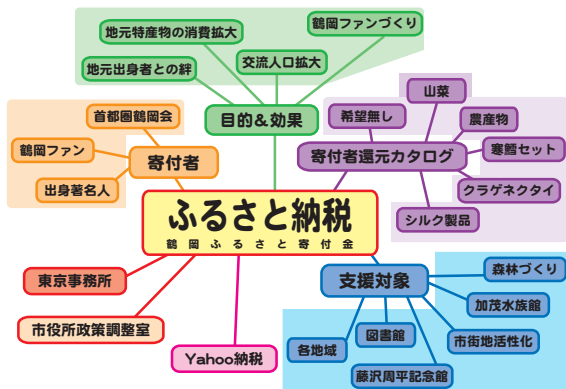
(教育長) 推進計画は必要だと認識している。教育委員会や健康福祉部で問題対応策等を整理し、幼児教育やボランティア団体、PTA 等を策定委員に迎え、ここ 3 年以内に、市民の声を幅広く反映した鶴岡らしい推進計画の策定を目指したい。

<解説>

平成 13 年「子どもの読書活動の推進に関する法律」施行以来、全国の市町村で「子ども読書活動推進計画」が制定されてきましたが、山形県内ではまだ 1 自治体のみ。

今回、計画の必要性と、「3 年以内」という一定の時期が答弁されました。23 年度には前朝陽第一小学校校長である難波信昭氏が教育長に就任。全国に冠たる朝陽一小の「図書館活用教育」を推進してこられた実績がある難波氏に、鶴岡市ならではの「子ども読書活動推進計画」の早期策定を期待したいところです。

②「ふるさと納税」(鶴岡ふるさと寄附金)について



(田中) 年間十数件という寄附実績は本市の規模にしては少な過ぎる。人口七千四百人程の宮崎県綾町では、鶴岡市の十倍以上を集めている。「鶴岡ファン」を育て、交流人口を拡大するためにも、ホームページ等でのPRを強化し、本市出身者はもちろん、藤沢周平や加茂水族館のファンなど、小額の寄附者を多数集める方策を検討すべき。

(総務部長) 人と人のつながりを大事にした地域活性化の有力な手段の一つと捉えている。ホームページの情報拡充を図り、寄附金の使い道の明確化も検討する。寄附者と本市との絆を深め、継続的に応援して頂けるように取り組んでいきたい。

H22年4月臨時会

平成 22 年 4 月 19 日に 4 月臨時会が行われました。田中は一般会計補正予算の新エネルギー調査について、賛成討論を行いました。

(田中) エネルギーは、食料・水とともに地域の安定、それから安全にとって不可欠。総務省が掲げる「緑の分権改革」の中では、分散自立型、そして地産地消型社会がうたわれている。中央に寄りかかることなく、それぞれの地域で責任を持って自立可能な社会を築いていくためにも、鶴岡市でもエネルギー自給を進めたい。

森林文化都市を推進する鶴岡市において、水車による小規模発電や森林バイオマス活用など、豊かな自然を活用したクリーンなエネルギーを生み出すための研究が急務。

これまで、クリーンエネルギーやエネルギー自給の問題について、一般の市民への啓発活動が不足していたのではないかと。今回の調査・実験を通して、子ども達の教育も含めて取り組んで頂きたい。

農業関係や住宅、公共施設などへのクリーンエネルギー導入も進められていく今、今回の事業が持続可能な社会をどう築いていくか市民とともに考える良いきっかけになることを希望して、賛成討論とする。

<解説>

国の平成 21 年度の第 2 次補正予算で措置された「緑の分権改革」推進事業への本市提案事業の採択を受け、本市地域でのクリーンエネルギーの有効活用に向けた調査事業費を計上する議案です。調査内容は(1)クリーンエネルギー資源の賦存量と利用可能量の調査(2)マイクロ水力発電及び森林バイオマスの実証調査。



平成21年度 行政視察報告書 宮崎県綾町・宮崎市、鹿児島県鹿児島市

鶴岡市の規定により、委員会視察1回/年、会派視察1回/年の年間2回の視察が行われます。研修費用として、常任委員会での委員会視察は15万円以下/人、会派視察は10万円以下/人と定められており、宿泊費は14,050円/泊、日当は3,000円/日と決められております。

今回の視察は、会派視察として行かせて頂きましたが、無会派のため、一人で参りました。

■視察日程：2010年2月23日～25日

■調査地と目的

◎宮崎県綾町

- ・森林セラピーについて
- ・ふるさと納税について

◎宮崎県宮崎市

- ・宮崎市立図書館のNPOによる運営について

◎鹿児島県鹿児島市

- ・維新ふるさと館の見学
- ・鹿児島市役所表敬訪問 他

■参加者：田中 宏

■視察費用：¥89,194

(内訳) 交通費 = ¥52,094、宿泊費 = ¥28,100、日当 = ¥9,000

<宮崎県綾町>

宮崎県のほぼ中央に位置する山里。照葉樹林と有機農業を柱としたまちづくりで高い評価。

☆森林セラピー 有名な照葉大吊橋から4kmほど山奥に入った川中自然公園で、森林セラピーを体験。たくさん歩く「散策型」、のんびりと過ごす「休養型」、動植物の観察が中心の「自然探訪型」などのコースを設定。観光資源というより、

町民が森と親しみ、心身とも健康になることが主目的とのこと。

☆ふるさと納税 平成21年度は262件と宮崎県内でトップ。全国の「綾町ファン」との絆になっている。「農業振興」「青少年育成」など寄付金の用途を指定できる。

<宮崎市>

☆宮崎市立図書館 2000年からNPO「MCLボランティア」が市から運営受託し、行政と市民の協働で運営。手厚い研修によって人材育成。読み聞かせ・人形劇などのボランティアサークルが28団体も登録しており、図書館だけでなく、市内の学校からのリクエストにも応えている。

<鹿児島市>

鶴岡市と鹿児島市の兄弟都市盟約40周年を記念した首都圏鶴岡会のツアー18名と合流し、維新ふるさと館を見学した後、市役所で市長と懇談。

☆かごしま近代文学館・メルヘン館 林芙美子・椋鳩十・向田邦子など、地元ゆかりの文学者を顕彰するとともに、子ども達を文学に誘う機能を果たしている。

☆国指定名勝「仙巖園」隣接した尚古集成館とともに、一種のテーマパークを成している。土産の開発・販売や飲食店の充実が際立つ。視察の最後に、南洲墓地で西郷隆盛と荘内藩士・伴兼之、榊原政治の墓参。南洲翁の墓のすぐ前には、鶴岡市が兄弟都市盟約の記念に寄贈した庄内柿の木があり、40年を経た今日も実を付けているようだ。

ブログ ツイッター

BLOG / twitterでの情報発信も!



▼市政報告会を開催していきます。一方通行ではなく、語り合う形で意見交換させて頂きたいと願っております。会合などにお呼び頂けると嬉しいです!お気軽にご一報ください。

▼広報紙での『田中ひろし市政報告』は、年4回程度発行していきます。

▼随時、ツイッターやブログでの情報発信も行なっております。

<http://tanaka-tsuruoka.net/>

http://twitter.com/tanaka_hiroshi

